

ロードレース部門、210kmコース、140kmコース、100kmコースに参加予定の皆様へお知らせいたします。



新たなコースは名護市大浦から当初の予定通り県道18号線に入り、途中羽地ダム向けの羽地大川線に入るのではなく18号線をそのまま走行し、オリオンビール(株)南方の高架橋部分を通過後、市内に入り国道58号線に合流した地点で右折し、中央分離帯の右側車線を直進し、名護市21世紀の森体育館前にフィニッシュします。オリオンビール(株)裏の高架橋手前から市内に至るまでの高低差が約200m、下りコーナーも厳しく路面の凹凸、滑り止め舗装の左右混在などから難所のひとつとなります。必要な安全対策を実施しますが、選手各位におかれても、新たなコースであることから特段の注意をお願いします。コース変更につきまして、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

「ツール・ド・おきなわ大会」のロードレース部門、

210km

140km

100km

に参加予定の皆様へお知らせいたします。

今年の補給所での補給につきましては、感染症対策及びボランティア補給スタッフの確保から、これまでのサイクルボトルからペットボトルへの補給へと変更いたします。

ペットボトルへの補給となり、参加選手の皆さまにご不便をおかけすることは、大会事務局としても認識しておりますが、補給処2箇所です約50人による5,000本のボトルへの移し替え及び受け渡しで万が一の感染拡大が発生した際のリスクを考え、この決定となりましたことをご理解くださいませ。

大会側として、ペットボトルの補給へ変更することから、以下の対策を施します。

1. 補給所スタッフは、事前のアルコール消毒及び手袋をして、事前作業及び受け渡しを行います。
2. 補給処スタッフでペットボトルのキャップを一度お開けして再度軽く閉めなおして、参加選手の皆さまへお渡しします。
(作業時は手袋を着用して開封作業を行います。)
UCI公認の男子チャンピオンレースは、補給対象外となります。
3. 水(いろはす：日本コカ・コーラ)とスポーツドリンク(アクエリアス：日本コカ・コーラ)を補給所ではご用意いたします。視覚的にわかりやすくするため、事前に水(いろはす)はラベルを剥がしてお渡しいたします。
4. 受け渡しをスムーズにするためにペットボトルの上部をつかんでお渡しすることで補給処スタッフは統一します。
5. ボトル廃棄ゾーン(GREEN ZONE)をこれまで補給処エリアとしましたが、各関門(CHECK POINT)に追加で廃棄ゾーン(GREEN ZONE)を設置します。
※補給後の廃棄ゾーン(GREEN ZONE)は、2回目の普久川補給所後は、東村宮城関門付近となります。東村慶佐次補給所後は、名護市安部関門付近となります。